

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずのき 吉野校		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動と学習をメインとした支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 個別サポートの強化(活動状況に合わせて集団や個別の支援を組み合わせている) 楽しく学べる環境作り(学習や運動をゲーム感覚で取り入れ、子どもが主体的に参加できるようにしている) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なプログラムの見直し(利用児の成長や習熟度に応じて支援内容を調整) モチベーション向上(目標シートやポイント制を導入し、学ぶ楽しさを実感できるようにします)
2	社会体験活動などのイベント	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設・企業との連携(工場見学など実際に社会を学べる機会を増やしました) 多様な体験を提供(工場見学、農業体験、飲食店での仕事体験など、幅広い分野での体験活動を実施しました) 利用児主体の活動企画:イベントの計画を子どもたちと一緒に作り、主体性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なイベント開催(毎月1回以上の社会体験イベントを企画し、継続的に実施) 地域ボランティア活動の参加(清掃活動など子どもらしく、社会貢献の意識を育む) 多文化交流の機会を検討(外国人ゲストを招いた異文化体験イベントを実施)
3	保護者との関わりや困ったときの柔軟な対応	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な個別相談の実施 連絡手段の多様化(LINE等を活用しました) ペアレント・トレーニングなど保護者支援の実施 緊急時のお預かり(延長支援など) 	<ul style="list-style-type: none"> 交流イベントの定期開催(親子参加型のイベント開催を検討していきます) アンケートを活用したサービス改善(定期的に保護者へのアンケート実施を検討していきます)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが若干狭い	学習プログラムを取り入れており、机椅子など個別で準備しているため、十分なスペースが取れていない	活動拠点を事業所のみにとどまらず、戸外(公園など)や社会体験活動等を多く取り入れ、体を動かす機会を多く作っていきたいと思います。
2	保護者会など保護者間の交流が実施できていない	活動スペースの課題と周辺に駐車場がないため、事業所内で保護者会などを実施できないと考えている	近隣で駐車スペースを確保できる公民館等を利用し、開催できるよう検討していく。
3	地域との繋がりが	近隣企業や農家などに依頼し交流を図っているが、十分ではない。	協力して頂ける企業や地域ボランティアを活用したイベント等を企画していく。